

# 智恵子抄 (1957)

メディア 映画

ジャンル 文芸 ドラマ ロマン스

製作国 日本

色彩 B&W

時間 98分

初公開日 1957/06/29

## 【解説】

高村光太郎の同名詩集をもとに、八住利雄が脚本を執筆、熊谷久虎がメガホンをとった。『智恵子抄』は本作以降、何度も映画化やテレビドラマ化された。高村光太郎の死後わずか一年で映画化され、話題を呼んだ。山村聡が高村光太郎、原節子が智恵子を演じた。

詩人で彫刻家の高村光太郎は、画学生の長沼智恵子と結婚。結婚により荒んだ生活から脱した光太郎は、詩を創作し続けた。智恵子は自分の絵の才能に限界を感じ、精神的なダメージを受けていた。さらに父の死、実家の破産と一家の離散など不幸が続き、ついに総合失調症を発症してしまう。智恵子の病気には自分にも責任があると感じた光太郎は、献身的に看護を続けたが、その間にも智恵子の容態は悪化していくのだった。

## 【クレジット】

監督 熊谷久虎

製作 田中友幸

原作 高村光太郎

脚本 八住利雄

撮影 小原譲治

美術 清水喜代志

音楽 團伊玖磨

出演 原節子

山村聡 So Yamamura

青山京子

太刀川洋一

三津田健

三好栄子

津山路子

左ト全

森啓子

柳永二郎